

第71期事業報告書

当年度の事業概要を次の通り報告いたします。

(2021年6月1日より2022年5月31日まで)

昨年、一昨年に引き続き、COVID-19の感染状況により事業活動の変更を余儀なくされた。

1. 自然科学関連知識の普及及び啓蒙

- 当期は COVID-19 感染拡大防止の観点から「自然科学書協会講演会」ならびに「サイエンスカフェ」の開催を見送ったが、来期は感染等の影響を受けないオンラインリモート形式での開催を目指している。当期はその実現に向けた準備期間に充てた。

2. 自然科学関連図書等の国内外への広報及び普及

- 文字・活字文化推進機構等の活動に協調し、日本書籍出版協会をはじめとする出版界各団体が主催する諸事業に協力した。
- 「自然科学書フェア 2021」を開催した。
 - ・期日：2021年5月22日（土）～7月2日（金）
 - ・会場：ジュンク堂書店那覇店
 - ・テーマ：「未来への架け橋 知識の泉 自然科学書フェア」
 - ・参加社数：48社（前年43社）
 - ・出品：1,057点 2,378冊（前年1,133点 2,903冊）
 - ・販売実績：332冊 946,040円（前年238冊 658,085円）
- 「自然科学書フェア 2021」（第2回）を開催した。
 - ・期日：2021年9月17日（金）～11月7日（日）
 - ・会場：丸善津田沼店
 - ・テーマ：「未来への架け橋 知識の泉 自然科学書フェア」
 - ・参加社数：51社（前回48社）
 - ・出品：972点 2,374冊（前回1,057点 2,378冊）
 - ・販売実績：463冊 1,323,865円（前回332冊 946,040円）
- 「自然科学書フェア 2022」を開催した。
 - ・期日：2022年4月20日（水）～6月19日（日）
 - ・会場：紀伊國屋書店札幌本店
 - ・テーマ：「未来への架け橋 知識の泉 自然科学書フェア」
 - ・参加社数：50社（前回51社）
 - ・出品：1,175点 2,526冊（前回972点 2,374冊）

○海外のブックフェア

- ・「第 28 回北京国際図書展示会」(BIBF2021)

以下の日程で開催が予定されていたが、COVID-19 の影響により出展出来なかった。

- ・期日：2021 年 8 月 25 日（水）～28 日（土）
- ・会場：中国新国際展覽センター

- ・「2021 フランクフルトブックフェア」(FBF2021)

以下の日程で開催された。当協会は COVID-19 の影響により出展を見合わせたが、会場に於いて英文会員名簿の配布による会員社の周知活動を行った。

- ・期日：2021 年 10 月 20 日（水）～24 日（日）
- ・会場：フランクフルトメッセ

○和文名簿を当会ホームページで公開し、協会活動と出版活動の周知を図った。

○国際ブックフェアなどを通じて国内外の出版社などに協会活動の周知と翻訳出版活動への情報を提供するために英文名簿（冊子）を作成した。

3. 著作権の普及と啓発

○著作権の保護並びに著作物の適正利用を推進する活動を行った。

- ・図書館資料の複製・公衆送信に関わる著作権法第 31 条改正に伴う補償金管理団体設立準備、運用ガイドライン策定作業、補償金額検討作業に参加した。

○その他、著作権に関連した活動を行った。

- ・出版者著作権管理機構（JCOPY）の構成団体の一員として運営に協力した。
- ・授業目的公衆送信補償金等管理協会（SARTRAS）やその構成団体である出版教育著作権協議会に参加した。

4. 自然科学の振興に功績のあった者及び自然科学書出版に特に貢献をした者の顕彰

○文部科学大臣表彰科学技術賞の推薦団体として会員社に対して当該表彰候補を募集したが、期日までに応募はなかった。

5. 出版文化向上のための研究会・講演会等の開催及び関連団体との交流

○例年出版梓会と協賛している東京都印刷工業組合出版メディア協議会主催の「出版・印刷人の集い」は COVID-19 の感染拡大を受けて主催者が中止を決めたため開催には至らなかった。

○当協会主催(或いは共催)で、オンラインリモート形式による研修会を 4 回開催した。

- ・日時：2021 年 10 月 11 日（月）15:00～16:00
- ・開催方式：Zoom によるオンラインリモート形式
- ・講師：浜崎 肇 氏 ほか（日本出版インフラセンター 出版情報登録センター センター長）
- ・演題：「『JPRO』および『ためし読みサービス』等利用促進について」

- ・参加者：40 余名

※日本出版インフラセンターとの共催

- ・日時：2022 年 1 月 14 日（金） 16:30～17:40
- ・開催方式：Zoom によるオンラインリモート形式
- ・講師：星野 渉 氏（株式会社文化通信社 専務取締役）
- ・演題：「出版業界 2021 年の振り返りと今後の展望」
- ・参加者：24 社，37 名

- ・日時：2022 年 2 月 25 日（金） 15:00～16:00
- ・開催方式：Zoom によるオンラインリモート形式
- ・講師：牧瀬 充典 氏（文化産業信用組合 理事長）
- ・演題：「2022 年度税制改正大綱について」
(電子帳簿保存法・インボイス制度・事業承継税制等)
- ・参加者：25 社，44 名

- ・日時：2022 年 3 月 7 日（金） 16:00～17:30
 - ・開催方式：Zoom・YouTube Live によるオンラインリモート形式
 - ・講師：池村 聡 弁護士（三浦法律事務所）
 - ・演題：「ニューノーマル時代における，正しい引用・要約の作法」
 - ・参加者：540 名超
- ※日本電子出版協会（JEPA）主催，自然科学書協会共催

6. 広報誌等の編集発行及びホームページの管理運営

○電子版会報を年 4 回（今年度は 7・11・1・4 月）発行した。また，ホームページでも公開した。

主な記事は

- ① 理事会の動向や決定の周知
- ② 各委員会活動の報告
- ③ 自然科学書フェアの告知ならびに報告

○ホームページを常に最新の状態にして，外部への情報発信を行った。

- ・協会の概要を掲載し，常に更新した。

7. その他，この法人の目的を達成するために必要な事業

○日本書籍出版協会と連携し，出版物に対する軽減税率適用に向けて働きかけを継続していく。

○出版界で行う諸事業（全出版人大会の開催，出版平和堂の活動など）に協力した。

- ・2022年5月13日（金）に第61回全出版人大会が，COVID-19の感染状況から懇親会を中止したうえで開催され，協賛団体としてこれに協力した。
- ・出版平和堂第53回出版功労者顕彰会は，COVID-19の感染状況から開催が見送られた。

○今期の活動状況を業界紙等に報道依頼し，活動並びに存在意義を広く告知した。

以 上

事業報告附属明細書

該当なし